

箕輪町 議会だより

みんなの議会



第74号

2020.11.1

次の世代へつなぐ 防災への思い

8月30日、箕輪町全区で一斉に防災訓練が行われました。近年頻発する自然災害に町民のみなさんの防災意識は高まっています。本誌22-23ページでは、防災に関する各区の取り組みを紹介しています。
(写真は中曽根区防災訓練の様子)



- 令和元年度決算認定 …P2・3
- 議案審査 ……………P4・5
- 委員会審査の概要 ……P6・7
- 町政を問う ……………P8～21
- 特集「地域防災」…P22・23
- サークル紹介 ……………P24



議会ホームページ

令和元年度は第5次振興計画の4年目の年として、引き続き人口減少に歯止めをかけ、心豊かに安全で安心して暮らせるまちを目指し、「人としごとのなごれをつくり 選ばれる町 みのわを目指して」として予算を編成し事業展開の報告を受けました。

令和元年度一般会計決算額、歳入99億6,022万円／歳出92億9,556万円となり、差引額6億6,466万円は令和2年度に繰り越されました。



特別会計

会計名		収入額	支出済額
国民健康保険特別会計	事業勘定	23億6,293万円	23億2,522万円
後期高齢者医療特別会計		2億9,257万円	2億8,638万円
介護保険特別会計		19億6,137万円	19億1,807万円

企業会計

会計名		収入額	支出済額
水道事業会計	収益的収支	5億2,063万円	4億8,238万円
	資本的収支	0円	1億4,438万円
下水道事業会計	収益的収支	10億 237万円	9億7,215万円
	資本的収支	6億2,740万円	9億5,424万円

町の基金

(一般会計)

基金名	現在高
財政調整基金	14億7,718万円
減債基金	1億8,740万円
福祉基金	1億7,284万円
商工業振興基金	1億6,000万円
みのわ温泉関連施設整備基金	245万円
その他(図書館建設基金など)	3億9,285万円

町債の現在高

会計名	現在高
一般会計	92億5,920万円
下水道事業会計	92億3,376万円
水道事業会計	13億6,729万円

町債(地方債)の借入残高は、令和元年度末で92億5,920万円となっており、実質公債費比率は9.9%となり、一般会計以外の会計の借入残高は、下水道事業など総額で106億105万円となる報告を受け認定しました。

松本豊實代表監査委員 審査結果報告

一般会計、特別会計、企業会計、歳入歳出決算書、事項別明細書、決算資料、証拠書類並びに事業実績報告書などの関係書類、さらに定期監査及び例月出納検査の結果と照合し、木村監査委員と共に審査を実施しました。

資金運用状況は、本年度も財政調整基金繰り替え運用したため、一時借入金がなく、非常によい資金運用でした。一般会計決算額は歳入歳出とも前年度と比較して増加、実質収支は翌年度への繰越額の増加により、前年度と比較して減少しています。町税の収入済額の対予算現額は102.06%と令和元年度も予算見積り精度が極めて高く、健全な財政運営に貢献しています。

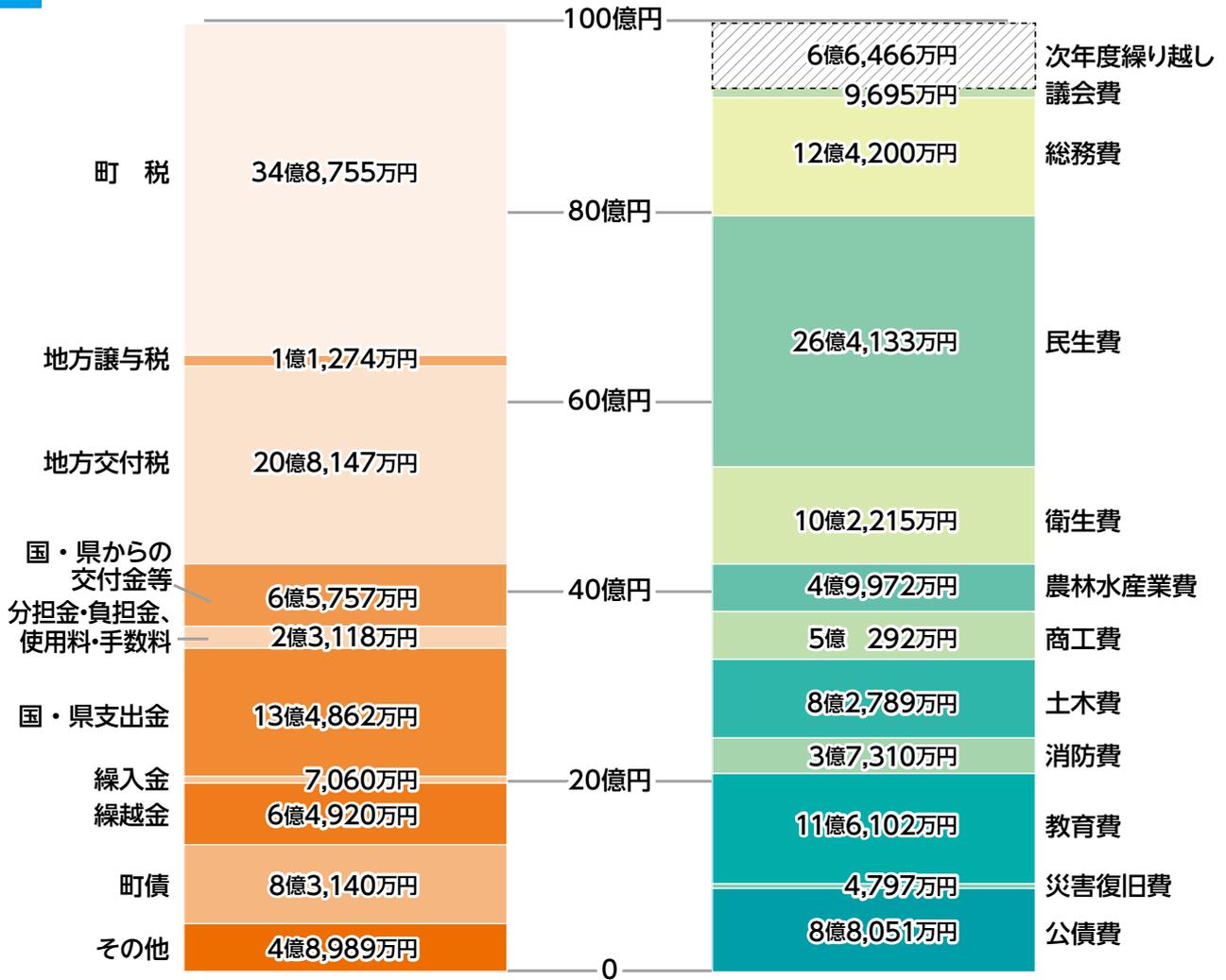
少子高齢化社会を迎え、今後は社会保障費、インフラの維持管理にますます経費が掛かる中、新型コロナウイルス影響もあり、今後の景気動向が見通せない経済情勢で、町税などの自主財源の増加は期待できません。行財政運営を取り巻く環境はますます厳しくなっておりますが、後年度負担に依存する財政とのバランスに配慮し、行政需要を厳選した町政運営や防災体制の強化を含む安全・安心のまちづくりを切に望みます。

令和元年度 決算を認定

一般会計

歳入 99億6,022万円

歳出 92億9,556万円



6億6,466万円を次年度に繰り越し

用語の説明

歳入

- 町税……個人町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税・法人町民税など
- 地方譲与税……国が国税として徴収し、そのまま町に対して譲与する税
地方揮発油譲与税・自動車重量・森林環境譲与税など
- 地方交付税……国税のうち、所得税・法人税・酒税・消費税・地方法人税の一定割合を地方に交付 用途は自由な一般財源
- 交付金等……地方消費税交付金・自動車取得税交付金・地方特例交付金など
- 分担金……区や団体からの負担金・分担金・施設の使用料・手数料など
- 国・県支出金……国・県から町の経費負担分に対し支出する負担金・委託費・補助金など 使い道が決められている。
- 繰入金……一般会計・特別会計・基金から相互に資金を運用するもの
- 繰越金……前年度の残金
- 町債……町の借金 保育園建設事業債・消防施設事業債・学校教育施設等整備事業債など
- その他……その他の歳入

歳出

- 議会費……議員及び職員の人件費・議会運営費など
- 総務費……一般管理費・文書広報費・企画費・交通安全対策費・選挙費など
- 民生費……社会福祉総務費・老人福祉費・児童手当費・保育園運営費など
- 衛生費……保健衛生総務費・保健事業費・環境衛生費・墓園費・清掃費など
- 農林水産費……農業委員会費・農業振興費・畜産業費・林業費など
- 商工費……商工振興費・観光費・産業支援センター管理費など
- 土木費……道路維持費・道路橋梁新設改良費・公園事業費・住宅管理費など
- 消防費……常備および非常備消防費・消防施設費・災害対策費など
- 教育費……教育委員会費・学校給食費・教育振興費・公民館費・博物館費・図書館費など
- 災害復旧費……林業施設災害復旧費・公共土木施設災害復旧費など
- 公債費……借金(町債)を返すお金

3 賛否が分かれた陳情の議決結果

提案の趣旨	提出者	伊藤	岡田	青木	釜屋	唐澤	入杉	木村	松本	金澤	中澤	荻原	中村	寺平	小出	中澤	結果
		隆	建二朗	俊夫	美春	敏	百合子	英雄	五郎	幸宣	千夏志	省三	政義	秀行	嶋文雄	清明	
上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表を求める陳情書	高校再編を考える上伊那の会 代表 宮下 与兵衛	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	—	不採択
<p>【反対討論】上伊那は少子化が進んでおり、普通科の統合再編は時代の流れで避けられない。公表までの期間が半年は適切。学びの現場にあって理想的なクラスの人数、カリキュラム、部活動など一定の人数を確保する必要があるとの教育現場の声。統合・再編問題は教育現場の意見を尊重すべき。</p> <p>【賛成討論】住民説明会での意見に対し、県教委から回答実績がない。再編対象校が明らかにされないままで議論は深まらない。集中から分散への世論と文科省の動きも。再編計画は見直すべき。現在の上伊那7校を維持することで、10年後の充足率は諏訪9校との比較で丁度良くなるとの説もある。</p>																	
種苗法「改定案」の廃案を求める陳情書	上伊那農民組合 代表者 竹上 一彦	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	—	不採択
<p>【賛成討論】改正法は自家増殖を一律禁止するもの。南米各国では企業に権利が独占されるとして廃案・凍結・撤回が続いた法案。日本が強行採決した種苗法を今回改正しようとしていることに対し、不採択は地方議会として無責任。「種を制する者は世界を制する」との説も。種苗の自由化への入り口。農家の経営を守るべき。</p>																	
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	—	不採択
<p>【反対討論】医師の定員を増やし続けている現状。単に医師を増やすだけでは問題は解決しない。医師の偏在問題にメスを入れることが必要。社会保障審議会医療部会では、医師の働き方改革、偏在対策、勤務時間の適正化について再度医師需要推計を行い医師養成の方針を見直すとしている。</p> <p>【賛成討論】高齢化の進行は在宅医療充実、医療と介護の連携が求められ医師確保が今後の課題となる。上伊那は、木曾と並び医師少数地区。絶対数確保は課題。全国知事会も医学部臨時定員増員制度の延長を緊急提言を指示。医療機関の充実こそ少子化対策であり、医師、看護師等の働きがいにつながる。</p>																	

備考 ○議長は原則として採決に加わらない。○=賛成 ×=反対

詳細に関しては箕輪町議会ホームページで、後日議事録を閲覧することができます。

箕輪町議会

検索

議案審査

4 意見書の提出

可決された意見書	地方における公立・公的病院の国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないことに関する意見書 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
----------	---

議会活動日誌

令和2年7月から9月までの議会活動の一部を紹介します

7月

1・8・10・13日

議会広報特別委員会

15・20・31日 議会運営委員会

15日 委員長会議

20日 臨時会

8月

4日 福祉文教常任委員会

18日 全員協議会

21日 議会運営委員会

31日 9月定例会初日

9月

1日～14日 9月定例会

23日 議会活動活性化委員会

30日 議会広報特別委員会

箕輪町議会ホームページをご覧ください!

議会に関する詳しい情報を掲載しています。

スマホから



パソコンから

箕輪町議会

検索



または箕輪町HPの からアクセス



- 議会
- 議会だより
- 各委員会事業計画・中間報告・最終報告
- 議会視察・研修報告
- 議会定例会
- 議会行事予定表
- 議会中継
- 議事録検索
- 行政視察のご案内

- 箕輪町議会の条例や議員の名簿があります。
- 議会だよりの過去のものから最新のものまで読むことができます。
- 各委員会の情報が見られます。
- 他市町村を視察し、報告書を掲載しています。
- 定例会について資料等を掲載しています。
- 各議員の毎月の行事予定が掲載されてます。
- 議会の一般質問の動画が見られます。
- 過去から現在の会議録を確認いただけます。
- 各議員の公約が掲載されています。

議案審査



1 条例制定

○学童クラブ支援員の研修要件の緩和

学童クラブ支援員は県知事が行う研修のみでなく、政令指定都市、中核都市の長が行う研修でも資格の取得が可能になります。

2 補正予算

	事業名称	事業の概要	予算額
新型コロナウイルス感染症関連の主な対策	新生児臨時特別定額給付	4/28以降に出生した新生児に対して10万円を給付	2,000万円
	テレワーク環境導入	役場業務を継続して実施できるよう、自宅で勤務が可能なテレワーク環境を構築	2,170万円
	小学校空調設備の増設	3密状態を避けるため、学習室の空調設備を整備	403万円
	屋外映画イベント補助金	町観光協会へ屋外映画イベント経費に対する補助	100万円
	外国籍住民就業支援	新型コロナウイルス感染症の影響により離職等を余儀なくされた外国籍住民の方へ就業を支援	286万円
	関係人口創出施設整備	旧東部診療所を活用して関係人口を創出するための施設整備に係る経費	425万円
	子育てセンター空調設備設置	遊戯室の空調設備を整備	327万円
	災害避難所の感染症対策	パーティション、簡易ベッド等を整備	563万円
	小学校手洗い箇所の増設等	小学校の手洗い箇所の増設に伴う経費	1,296万円
	学童クラブ教室数の増	分散保育に要する人件費の増加	109万円
その他	老朽化に伴う沢町宮住宅、平屋棟の解体工事 公共土木施設災害復旧工事		6,270万円
	7月豪雨による福与区(判の木坂)等災害復旧工事		1,060万円



老朽化した沢町宮住宅の平屋棟



竜東線沿いの法面崩壊現場

総務産業常任委員会付託分

令和元年度箕輪町一般会計

歳入歳出決算認定について

問 空き家改修費等補助金と片づけ事業補助金の併用はあったか。

答 改修13件、片づけ事業11件、うち併用は6件。

問 財政調整基金繰入金が予算では5千万円を見込んでいたが、収入額は0%になっているのは何故か。

答 繰越金に余裕があり、当初予算は見込んだが財政的には問題がないため繰入れを行わなかった。

問 消火栓点検主弁調整点検手数料・118万円の支払先は何処か。

答 一社のみの消火栓点検専門業者に毎年発注。主弁調整、水漏れ有無確認等の点検及び調整を頼んでいる。

問 気象観測装置設備保守点検・サーバー用OS更新・141万円は、具体的にどこで活用されているか。

答 町内6箇所気象確認が出来る装置が設置されており、その情報をホームページで公開している。

問 山彦化成工業からの指定管理者納付金20万円は、3月分か。

答 令和元年度分としての納入。指

定管理料は0円の上、毎月20万円納付する旨を「協定書」で結んでいる。

問 中山間地域農業直接支払事業交付金・667万円は、特認地区(三日町・福与)の指定条件は何か。

答 傾斜のある地域での農業を守るための交付金である。三日町・福与は県に申請し特認指定を受け交付されている。要件を全て満たせば一反歩当たり2万1千円が交付されるが、当町は8割交付を選択している。

問 合併浄化槽事業費・183万円は、予算額と決算額に開きがあるのはなぜか。

答 例年新規設置5件くらいを見込むが、対象エリアの実績が3件であった。

問 令和元年度箕輪町水道事業会計決算認定について

問 有収率は消火栓からの使用量が大きく影響すると思うが、消火栓からの使用量は計測出来るのか。それは不可抗力では。

答 消火栓にはメーターは付いていないのでその使用量は計測不可。有収率はその影響を受ける。その比率は現在のところ不明。

令和元年度箕輪町下水道事業会計 決算認定について

問 不明水確認箇所はどこか。

答 カメラで下水管を調査したところ地下水の流入であった。場所は、箕輪バイパス生協病院前付近で現在も流入しているので予算が付いたら工事を行う。



令和2年度箕輪町一般会計 補正予算(第8号)

問 旧東部診療所の活用方向性は。また、いつ頃になる予定か。

答 リモートワーク、レンタルオフィス、コワーキングスペース等を備えた施設を考えている。今年度内に発注し、次年度内には終わらせる計画であり、遅くとも3月議会には補正予算の上程を予定している。

問 歳出の林業施設災害復旧工事費・3706万円の箇所はどこか。

答 縦ノ木の神、萱野線、長岡桐山沢、南小河内寺沢、北小河内中ノ沢の5箇所である。

現地確認

総務産業常任委員会

9/11
金

場所

- 町道認定箇所：1、変更箇所：2
- みのわテラス電柱布設替え確認
- ながた自然公園支障木除去後の現地確認
- 晴海産業(南箕輪)防災用ショールーム
- 令和元年度 防犯外灯新規設置箇所の一部
- 雹被害の果樹園

8月22日、15～20分間降雹



福祉文教常任委員会付託分

令和元年度箕輪町一般会計
歳入歳出決算認定について

問 可燃物の増加、他のゴミは減少の関係と理由は。

答 収集の分別区分が変わり、不燃物や資源ゴミから可燃ゴミへ移ったものがある事も可燃物増加の理由。

問 マイナンバーカード発行枚数の増減は。マイナポイント制度が発表されてから増えているか。

答 3月頃からカード発行数が増え、月200枚交付になっている。

問 高齢者生活支援ハウス使用料は何人からもらっているのか。

答 入居者7人のうち4人からもらっているが、そのうち一人は入院中。

問 高齢者虐待保護措置はどこを想定しているのか。

答 分離措置としてグループホームへの入所を予定している。

問 発達支援、虐待関係の相談件数の増減は。

答 集計の仕方が変わった事もあがるが虐待の件数は増えていない。平成30年度29件、令和元年度は15件と減っている。

問 出生数と保育園の定員との関係と推移は。

答 出生数は徐々に減っている。未満児保育の数が増えているが、現在定員数には満たない。

問 保育料の滞納者数と対応は。

答 以前の滞納分は児童手当を充当して納めてもらい滞納者は減ってきている。

問 GIGAスクール構想も始まったが英語教育を見直す考えはあるか。

答 ネイティブランゲージを重視し、外国人講師による教育を行っている。4月から小学校で正式な授業になり、箕輪では高い水準になっているが、全体的には授業の進め方など見直しも必要。

令和元年度箕輪町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 医療費分析の活用内容は。

答 生活習慣病予防対策、糖尿病性腎症重症化予防等に活用。

問 特定健診の受診率50%は国の目標に対してはどうか。

答 国の目標は60%。県全体の中では高い方。

問 ジェネリック医薬品の利用率は。

答 県では80%を超えている。町も薬剤師会の協力で80%に近い。

問 国保税の値上げは。

答 医療費の状況などで変わってくる。将来的に上がっていかざるを得ない。

令和2年度箕輪町一般会計
補正予算(第8号)

問 障がい者住宅改修事業の一人あたり限度額は。

答 63万円が一家族あたり限度額。

問 新型コロナウイルス対策としての保育園の消耗品の内容・予算額は十分なのか。

答 アルコール・体温計・マスクなど備蓄ができるように購入を推奨していききたい。

問 新生児への臨時交付金の交付時期は。

答 10月頃になる。その後は妊娠届を出された段階でご案内する。

問 保健センターエアコン工事費の内容は。

答 大型で電気工事が必要な為、少し割高となる。

問 西小学校給食調理室のトイレ修繕の内容は。

答 扉等の改善及び手洗いの水栓も改善。

現地確認

福祉文教常任委員会

9/11
金

場所

- 中央道箕輪バス停駐車場
有料化後の現地
- 学童クラブ中部教室の候補を確認
- 箕輪南小学校
多目的トイレの工事
- 長田保育園
保育園業務支援システムの利用状況
やまほいく制度の実態調査
- 箕輪中学校 GIGAスクールの進捗状況
授業の様子・大型提示装置
パソコン充電保管庫



ここが聞きたい

町政を問う



箕輪町指定史跡

箕輪町文化財保護条例第1条の規定により左記のように指定する。

- 一 種別 別史跡
- 一 名称 田中城跡
- 一 所在地 箕輪町大字三田町九一番地の三
- 一 指定期日 昭和五十一年五月九日

天文十四年(一五四五)武田信玄との戦いで、福与城を開城した藤沢頼親は、その後三好氏をたよって京都に移った。三好氏の没落後旧地である箕輪に戻り、この田中城を構築したと伝えられる。(伊那温知集(かみ))

この田中城は、伊那谷ではめずらしい平城で、築城時は、東の天竜川や、周囲の沼地を防備の中に組み入れたものであったと考えられるが、現状は土塁の一部を残すのみである。
その後、飯田の小笠原氏の箕輪統治の際には、田中城に陣屋が置かれた。

箕輪町教育委員会

現在は綿半ホームセンターなど商業施設で賑わっている

一般質問は
だれでも自由に
傍聴できます

一般質問は、年4回の定例会(3月、6月、9月、12月)で、町政全般にわたり町長その他の執行機関に対し、自由な質問内容を開会日の翌日正午までに議長に通告することとしています。議員一人の質問制限時間は55分で、一問一答方式を採用しています。9月議会では、9月7日・8日の2日間に、13人の議員が質問しました。

主な質問	議員	ページ
第5次振興計画に対する達成度は	小出嶋文雄	9
学校・保育園の水道蛇口の改善を	釜屋 美春	10
音声告知放送中止に伴う対応	伊藤 隆	11
買い物弱者支援 町長の現状認識は	金澤 幸宣	12
ながたの森を整備 子どもの広場を	松本 五郎	13
森林ビジョン 今ではないのか	中澤千夏志	14
ながた荘の経営をどう再建するか	寺平 秀行	15
コロナ禍への適切で十分な対応を	唐澤 敏	16
働き方改革に向けたデジタル化は	青木 俊夫	17
総合防災訓練 今後の方向性は	中村 政義	18
みのわテラス一帯整備は	荻原 省三	19
コロナ禍で帰省困難者の軽減策は	入杉百合子	20
宿泊と飲食をセットにした支援を	岡田建二郎	21

「箕輪町議会たより みんなの議会 第73号」の内容について左記の内容に訂正がありましたのでお詫びいたします。

- P 13 唐澤議員(一般質問4段13行目) 答弁者 誤:教育長↓正:町長
- P 15 岡田議員(一般質問3段5行目) 答弁者 誤:教育長↓正:町長
- P 20 アンケート調査署名欄 誤:議会活動活性化特別委員会↓正:議会活動活性化委員会



小出嶋文雄 議員

第5次振興計画に対する達成度は

概ね順調に進んでいると評価

問 第5次振興計画4年目、令和元年度の計画達成度はどうか。

町長 人口減少対策については、人や仕事の流れを一定程度作り出すことができ、新たな人口ビジョンの見直しができた。産業面では、農業応援団計画、工業ビジョンに基づき施策の展開ができ、町の発進力の向上によりブラ

ンド力が高まった。安全安心な暮らしやすさも一定程度向上し、他に先駆けた健康づくり推進条例、受動喫煙防止条例の新設は事業推進の基盤ができた。しかし、年度後半から景

気回復に陰りが見え、新型コロナウイルスにより生活や経済活動に大きな影響が出ており、人口減少にも繋がっている。

今後の町行政への影響は

問 新型コロナウイルスの町の行政に及ぼした影響と来年度の予算編成、振興計画の見直しはどうか。

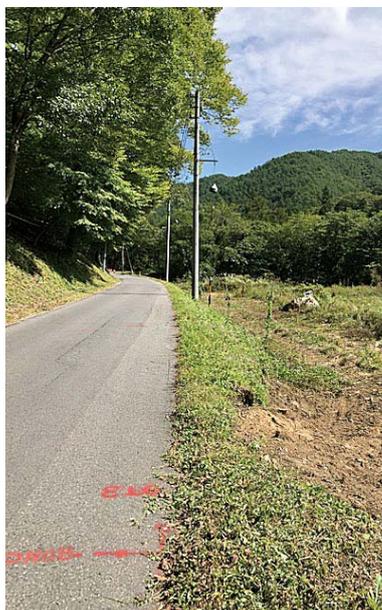
町長 新型コロナウイルスの影響で本年度の財源の確保は非常に不透明になっているが、国の地方創生臨時交付

金などの交付や財政調整基金の取崩しにより、一部事業の繰り越しは出るが、大幅な事業への影響はないと考えられる。来年度の予算編成では、法人町民税の大幅減少などで町税は4、5億円の減収が見込まれる。交付税でどの程度補填される

もみじ湖への道路改良計画は

問 もみじ湖観光振興のための道路拡幅改良計画の進捗状況は。

町長 箕輪ダム下流、県道2箇所を部分的に7mに拡幅する計画。県が今年11月から工事を実施、今年度中に完成の予定。引き続き狭隘(きょうあい)部分の改良を要望していく。



箕輪ダム下流の県道拡幅予定地

一般質問

か未定、大幅な財源不足が想定される。歳出では、経常的、投資的経費ともに大幅な見直しが必要になる。ハード事業の計画にも影響が予想される。

- その他の質問
- 看護小規模多機能型居宅介護施設を活用した介護医療の進め方
 - もみじ湖の観光振興のための誘客、地域振興イベントの支援を



釜屋美春 議員

学校・保育園の 水道蛇口の改善を

学校・保育園等切り替えていく

一般質問

問 新型コロナウイルス感染予防の一環で学校や保育園の水道蛇口を簡単に開閉できるユニバーサルデザインのリバー式に取り替えてはどうか。

町長 新しい沢保育園はレバー式、木下も予定している。既存の保育園をどうするのか研究する。一般の公共施設は自動式が多いが、



今後は徐々にユニバーサルの方向に舵を切っていく必要がある。

ら肘や手の甲で操作できる。学校長と相談しながら工事の折に導入していきたい。

教育長

学校の水道増設工事を今議会に計上している。開栓式の蛇口は何度も回すが、レバー式な

交付金を活用した町の未来構想は

問 国は地方創生臨時交付金を活用した「地域未来構想20オープンラボ」を立ち上げ、ポストコロナにおける自治体の未来構想を支援している。箕輪町はどう取り組むのか。

町長 町の振興計画に基づき、今回の交付金を活用して▽都市、地域の両方の良さを生かして働いたり楽しんだりするスタイルの構築。▽GIGAスクール構想の早期実現▽行政のICT化への取組み向上の3点の事業を国のオープンラボを活用し実施したい。

高齢者行方不明の防止策は

問 今年の5月と7月に高齢行方不明者が発生した。

①「安心見守りサービス」の周知が必要。

②GPS（衛星利用測位システム）の装着で行方不明者の早期発見が期待できる。お守りや杖につけるもの、靴に装着するもの等、各

自治体が工夫をしている。安心見守りサービスの登録者に対し町が貸与することができないか。

③自治体が保険会社と契約し希望する認知症の住民に半額補助するところもある。当町でも実施を。

町長 ①現在の登録者は2人。認知症に対する理解を深める必要がある。

②GPS装置は要介護2以上と徘徊の心配がある方に介護保険サービスが利用できる。

③認知症保険については家族の安心のために検討する。

その他の質問

●保育士への慰労金を支給する自治体があるが町の考えは



伊藤隆 議員

音声告知放送中止に伴う対応

情報伝達手段は防災アプリを導入

問 緊急時の音声告知放送は、3月末で終了と聞かれますが、今の防災無線では聞き取りづらいとの声が多い。本当に大丈夫なのか。

町長 加入率が25%を切っている状況。通常の情報入手方法としての役割は終わっている。新たな情報手段として防災アプリを導入していく。例えばテレビ・パソコン・スマホから

情報入手をしていたらくこととなる。スマホ・パソコンを持たない方には戸別受信機等に対応していく。

問 戸別受信機を設置するにあたり希望者の把握はどのようにしていくか。また、アプリ使用方法がわからない方などに相談室を設けるなどの考えはあるのか。

町長 受信機は現在150台しかない。できる限り増やしていきたい。そのタイミングで相談窓口は設けた。コロナの状況を踏まえながら検討していく。

今年度は税減収が予測されるが

問 世界的なコロナ感染で町民税・法人税等税減収が予測される。国庫支出金や県支出金も減収となると思うが、町の年間の予算編成をどのようにみているのか。

町長 多少の減収を想定しているが、全体とすれば、今年度予算額の税収は見込めると考える。今後半年間は特別交付税と合わせて、財政調整基金を取り崩すことも想定し、予算執行を進めていく。

廃業等の食い止めに持続化給付金を

問 コロナ感染により当町でも未だ悪影響を受けて、売上減少や取引減少の企業がほとんど。町として手続きの簡単な持続化給付金を出し、廃業等の食い止めに図っては。

町長 一部交通事業者への支援はしたが、国の制度に上乗せをする形のものはない。プレミアム付き商品券の利用が進んでおり、今後商工会とも相談をし、対策を考える。

一般質問



金澤幸宣 議員

買い物弱者支援 町長の現状認識は 高齢化の中で改めてクローズアップ

一般質問

問 「にこやか号」撤退後、軽トラック移動スーパー「とくし丸」が全町で1台のみ運行しているが、現状の買い物弱者支援は充分に出来ているか。

町長 高齢化が進むに
応じ、改めてクローズ
アップされる問題。

問 「とくし丸」に体験
乗車したが、町内には
潜在的な需要者が多



移動スーパーとくし丸

町長 運行形態が地域
の高齢者需要にマッ
チしていると感じて
いる。場合により補助
支援も必要と考える。

数居る。増車のために
町で何らかの支援を。

防災リュック普
及に補助制度を

問 自助が第一。その
普及推進手段のひとつ
として補助制度を。

町長 本来、町が避難
所に備えるべきものが
主体故にやや消極的。
しかし、分散・自主避
難の中では今後取り掛
からなければならぬ
問題と考える。

「新たな日常」の
対応準備を

問 ウィズコロナで東
京一極集中から二地
域居住が進む。環境
整備を。

町長 「東部診療所」に
個別型貸事務所を、「メ
ゾンみんなのわ」を長
期滞在型体験住宅に施
設整備を考えている。
ワーケーションの発想。

国体延期が体育
館改修等への影
響は

問 国体は最低でも一
年延期が濃厚。改修ス
ケジュール、改修内容
に影響は。

町長 8月30日、「日
本フェンシング協会」
理事会で箕輪町開催が
承認され、2サイト実
施が一定の了解を得
た。両体育館視察の中
で論議が進む。現状一
歩前進していると認識
している。



（左）市町間の横の連
携問題。サービス論か
ら言えば検討すべき課
題。権限移譲、事務委
任を法律論の中で検討
する必要がある。

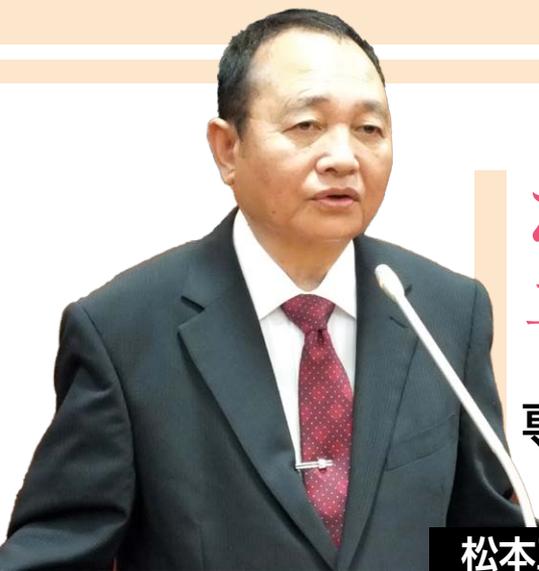
問 料金納入と「火葬
場使用許可証」受領は
伊那市役所でしか出来
ない。行政サービスも
自治体間の連携を。

住民環境課長

自治体間の行政サー
ビスのスマート化で
住民の利便性の向上
は間違いないが、簡

その他の質問

● 法人町民税激減へ
の対応について



松本五郎 議員

ながたの森を整備 子どもの広場を

専門家の意見を伺い考える

問 ながた自然公園の松の木は高くなりすぎ、倒れる危険性がある。住宅や電線に被害をもたらすため整備をして、伐採をした木材で遊具をつくる。林の傾斜地を利用して、長いすべり台、ターザンロープ、冬の季節は雪が降るから、そりで遊べる場所をつくるとか。ここへ来なければ味わえない、「魅力あるながたの森子ども広場」の建設を。

町長 松林については確かに昨年の台風による倒木もあり、伐採の時期に来ていることは承知している。専門家の意見を伺い考える。子どもの広場の提案については、そういった公園になることを望んでいる。



高くなりすぎ危険性のある、ながた自然公園の松の木

マレット新コース、宣伝力強化を

ら、宣伝力強化をしていくべきでは。

問 ながた自然公園に平成28年、今までの「ながたコース」に「自然公園コース」が加わり、県内最大級72ホールのマレットゴルフ場が誕生した。新コースを設置すると利用者が増えると思ったが、旧コースに比べ新コースの利用者は1割〜2割。真夏の暑い季節でも涼しさの中でプレーができる特典があることが

町長 72ホールあるのは県下ではここだけ。自然の中で楽しめるマレットをPRする観光サイトをつくってきたい。



利用者が少ない「自然公園コース」

小中学校休業せずに良い手立てを

問 コロナ禍、緊急事態宣言発令で町の小中学校が春、休業になった。これからも感染者が増え、休業の発令が十分に考えられる。例えば、一つのクラスが30人ならば半分の15人

は午前、残りは午後授業にと計画すれば密を避け、少人数で先生も子どもにも目が届き、丁寧に教えることができる。休業せずに良い手立てを。

教育長 短縮・分散授業を工夫してきた。地区別で日替わりに登校、人数を減らし、大規模校は工夫をし、授業が成立する方向で考えていく。

その他の質問

- 感染震源地化を面とした、住民対象のPCR検査を
- PCR検査をしてから結果が出る間の指導の徹底を



中澤千夏志 議員

森林ビジョン 今ではないのか

新たなビジョンを作りたい

一般質問

問 県林業総合センターや、林業労働財団が人材育成を支援している。町は訓練希望者を募り支援すべき。岡谷市は外国籍の労働者を直雇用して松枯れ巡視員に採用。町は外国籍の方に

も雇用の門戸を広げるべき。前回議会で次世代に繋がる50年森林ビジョンを求めたのに対して、「今ではない」と答弁だったが、今ではないのか。

町長 前は、森林経

営管理法ができ、森林所有者の皆さんが、どういった方向性があるかという事が明らかでない段階で、ビジョンはつくれないという意味の事を申し上げた。産業としての林業は町の中で育成していく

事は難しいが、森林の持っている多面的機能、私たちの住んでいる後ろにある山を、考えていく必要がある。観光ビジョンができあがった段階で、新たなビジョンを作ってみよう。

奥山を産業が輝き働く場所に

問 紙面環境シンポジウム企画にあたり多くの林業者・団体に声掛けさせていただいたが、箕輪町には雇用を生むような林業団体は

存在せず、専門的林業士は皆無。伊那市にある製材会社は、伊那市の材が補助金の対象、障壁ができています事も判明した。箕輪町も

同額補助金を支給する等、市町村を超えた連携が必要。塩尻にはF・POWERプロジェクトエクト発電施設がこの10月に稼働が始まり不用材を求めている。

町長 森林の機能は産業育成、人材育成だけではないが、森林をいかに活用するかという事について、その通りだと思つので、できる限りの事をしていきたい。

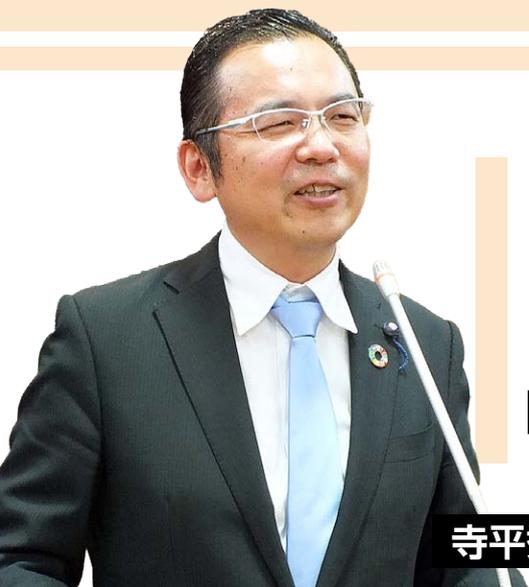


9.27 ながたドーム開催イベント 当日資料

林道も要らず、樹木も傷めない林業機材にモノレールやタワーヤードがあるが取り扱える人材が不足。人材育成が必要。コロナ禍の緊急事態を打開し、雇用を作っていくためには、奥山を「産業が輝き働く場所に」すべきでは。

その他の質問

●天竜川流域治水協議会に対し水害防備林の復元を要求すべき



寺平秀行 議員

ながた荘の経営を どう再建するか

日帰り宴会の利用を図る

問 ながた荘の現状をどう分析しているのか。

町長 一昨年度の約6割は長野県内のお客様で県外客の60%は首都圏。売り上げは大きく落ち込んでいるというのが現状。対前年比で6月は18・2%、7月は31・1%、8月は21・4%だった。4月、5月はそういった比ではなく4%、5%だった。

問 今後どう取り組むのか。

町長 日帰り宴会といった宿泊を伴わない宴会をいかにお願いくか。箕輪町だけではなく木曾地域、塩尻、岡谷、諏訪あたりの皆さんが活用できるようなことをしていかな

ければならない。場合によっては商品化もしていかなければならないと思っている。民間飲食業、観光業についてはプレミアム付き商品券の活用状況のめどがつかない段階で必要があれば対応したい。



経営立て直しが急務のながた荘

災害時の障がい者の 避難支援は

問 災害が発生したとき、障がい者の皆さんや家族が躊躇なく避難できるような、どのように取り組むか。

福祉課長 避難場所が本人の体に適さない場合、福祉避難所に移動し対応することもある。上伊那広域消防でスマートフォンを利用した聴覚障がい者向けの新たな通信システム「ネット119緊急通報システム」を12月から開始する予定。周知については聴覚障がい者の会で説明をすることになっている。

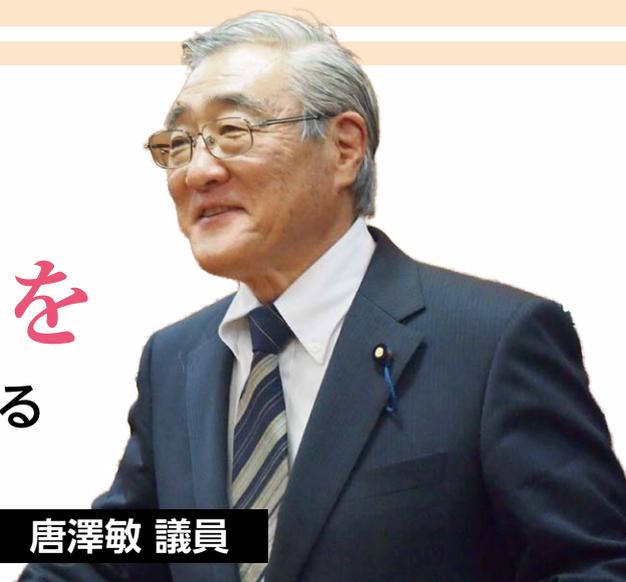
問 災害対応も想定して公共施設に大人用おむつを交換できるベッドを設置できないか。

福祉課長 現在、藤が丘体育館に大人用交換ベッドを設置する工事を行っている。藤が丘体育館は福祉避難所になるので活用できると思う。障がい者団体等に周知していきたい。

その他の質問

- 災害発生時の情報収集体制
- ゲリラ豪雨対策
- 「希望の旅」事業の課題と今後

一般質問



唐澤敏 議員

コロナ禍への 適切で十分な対応を

効果の検証を意識して施策を進める

一般質問

問 コロナ危機における町の対応についての検証は。

町長 生活支援対策や雇用の確保を含めた経済対策、学校や保育園での感染症対策などについて、検証する意識を持ちつつ事業を展開したい。

問 厳しい状況に置かれている中小企業の経営状態と対応策は。

町長 コロナ禍の影響度合いは多様だが、今までの融資制度や補助制度の効果をみながら、高付加価値化や生産性向上等の支援も検討したい。

問 コロナ危機のなか、雹害ひょうがいなど自然災害も含めた農業分野の支援を。



雹害果樹の自主販売

町長 様々な国の支援策を活用する一方、雹害等の被害には町として収入保険への支援なども検討したい。

問 生活困窮者の実態把握に基づいて支援施策の更なる充実・拡大を。

町長 緊急小口貸付や総合支援資金等の利用

者が増えている。税関係や公共料金の減免制度などの活用も促進し、丁寧に対応していきたい。

問 インフルエンザ流行期に備えた対策の早期実施を。

町長 ワクチン接種の時期を早めつつ、特に高齢者などへの接種率も上げていきたい。医療体制についても国・県の動向のなかで対応を図る。

人口減少対策と 行財政運営

問 前年度決算からみた人口減少対策の施策効果と今後の取り組みは。

町長 人口減少に歯止めがかかっていない。見直しを行い、新たな

総合少子化対策に切り替えていきたい。

問 大型ハード事業も控えるが、コロナ禍にあっても財政の健全化を。

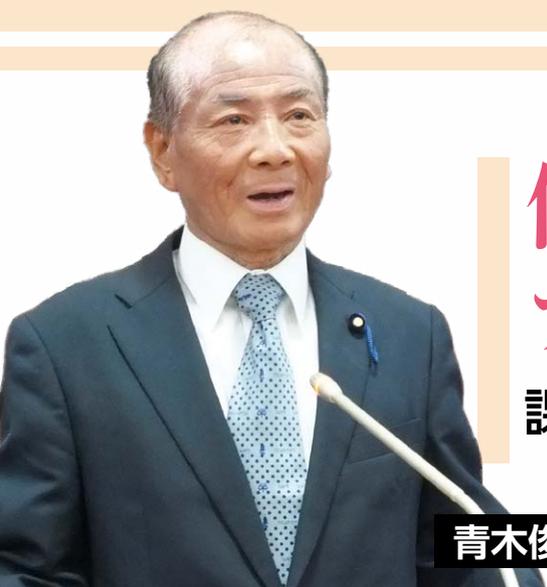
町長 経常経費は抑えていく。実質公債費率が上昇するが、行政サービス上で必要な事業は実施したい。

問 ポストコロナでの行政運営は。

町長 テレワークなどの新たな働き方に対応した取り組みを進めた。デジタル化の進展を踏まえた地域づくりにもかけての人材育成も図る。

その他の質問

- 雇用情勢の変化と対応施策
- 田園回帰志向を踏まえた人口減少対策の推進
- ICT環境の整備・充実と行政運営の改善・見直し



青木俊夫 議員

働き方改革に向けたデジタル化は

課題はあるがそれを超えて実施

問 働き方改革に向けたデジタル化推進の捉え方と今後の取り組みは。テレワークは、業務の効率改善に結び付き労働時間削減等、メリットある柔軟な働き方のツールとなると考えるが。

町長 役場ではテレワークについては進んでいないのが現状。今後このツールを使って関係機関と打合せ、調整、議論をして検討し、そうした活用は是非必要だと考えている。

問 町内事業者の普及と推進にあたり、町が考える支援策や今後の対策は。

町長 時代の潮流と共にIT化はさらに進む訳で、乗り遅れないようにしたい。製造業向けにIoT採用セミナー開催も実施。働き方改革を推進する為の国の助成金を活用して実施したい。

問 町の第5次振興計画、町工業ビジョンの中にも重点項目として優先課題で取り組み推進しては。

町長 生産性向上や人手不足の対応などを含め、計画の中に取り入れて実施する必要がありと考える。

問 町零細事業者の支援策として、この分野に精通した人材を配置し、ワーキングスペースとして町産業支援センターをサテライトオフィスとして活用しては。

町長 Wi-Fi環境、IoT環境を含め、一定期間活用して事業展

開をする事は、必要かとも感じるので検討したい。

JR木ノ下駅近くに待合所の建設を

問 箕輪進修高校生の65%、1日当たり約230名が利用する木ノ下駅に生徒の居場所確保を図り、また駅前

多くの高校生が利用する木ノ下駅



地域の活性化、地域環境の視点から待合所の建設を要望するが。

町長 駅周辺の整備については課題が有ることも事実。高校生や地域の皆さんと話をする中で、場所の問題、利用頻度の問題、寒い冬の活用等、打合せをさせていただきたい。

その他の質問

- 小中学校のGIGAスクール構想の実現、事業概要について
- “情報”という力リキュラムの充実推進は



中村政義 議員

総合防災訓練 今後の方向性は

町と区が行う訓練との連携が課題

問 今回の総合防災訓練は、今までと違う形での実施となったが、今後の方向性は。

町長 町が行う訓練と区が行う訓練との整合性、連携が1番の課題。

問 局地的豪雨等による、水路・小中河川の氾濫への対応は。

町長 なかなか当初考えていたような形で用水路の管理がされていないのが現実問題となっている。

問 町外に本店のある店舗の駐車場から雨水の流れ込みや、水路のゴミ管理等の協力要請は。

町長 様々なイベント、月間行事等を通じてお願いしていく。

一般質問

夏休み後の不登校の現状は

問 新型コロナウイルス対策による休校解除後、夏休み後の不登校の増加はあったのか。

教育長 臨時休校後に不登校が増えた実情はない。夏休み後は不調を訴える子どももいたが、職員が連携し対応。現在は登校し

ている。

問 学校行事の自粛中止も増加傾向の中、修学旅行・文化祭・運動会の状況は。

教育長 修学旅行は、小学校は時期を2学期に延期、目的地を長野県内に変更する。中

学校は当初の4月から来年3月に延期し目的地は検討中。運動会は、それぞれ従来の形と異なるが、感染防止対策に配慮しながら実施の方向で準備。中学の文化祭は分散型で開催する。

健康づくり推進条例の 取り組みは



「30日健康トライアル」の達成記念品の例

問 箕輪町健康づくり推進条例の目的や取組みをどのように町民へ発信するか。

健康推進課長 8月に健康づくり推進条例ダイジェスト版を全

戸配布。取組みとして8月から2ヶ月間「30日健康トライアル」を実施している。

その他の質問

● 箕輪地元応援券の販売



荻原省三 議員

みのわテラスの 一帯整備は

周辺農地を含め支援、連携を検討

問 みのわテラス一帯の整備について町の考えは。

町長 軽トラ市については敷地を全部使い、景観についても前面の電柱を移転し期待以上の集客があった。町内の飲食店の皆さんにも出店して頂いた。整備については都市計画法

の問題もあり十分ではないと承知しているが当面はこのままでいく。直売所を経営する

J Aとは今後協議をする。南側は賑わいを発信できるような農地活用で相談に応じたい。周辺農地の利用はコンサルを含めて協議する予定。

副町長

町内産であること、鮮度と品揃えが良いというのが直売所の全て。多くの農業者の方々に、自家菜園や付加価値を付けた作物、特別な栽培をされた作物などJ A系統の販売だけでない物を大いに売って頂くことが賑わいづくりに繋がっていくと思う。

太陽光発電の蓄電施設を

問 災害時の利用として太陽光発電の蓄電施設は必要ではないか。

町長 蓄電施設は耐用年数が短く、コストが非常に高い。積極的に公共施設に入れていく状況ではない。将来的には環境面、災害時を含めて検討すべき課題。

販路拡大支援事業は

問 ①販路拡大支援事業の大幅な見直しは、凍霜害や台風などの自然災害が毎年起こることを前提にした対策か。②自然災害の関連で町北部の一部地区に起きた今回の雹被害について町の対応策は。

町長 ①一つの方法として、災害に遭った農作物を6次産業化する

る利用方法が生まれている。②今回の雹被害については、収入保険をどのように考えていくか。加入率が上がらない理由を考えれば一



雹被害にあったぶどうの木

定の支援が必要。来年度実施の方向で検討する。国、県の補助がない時は町単独で行う。被害に伴う経費や資材についても今までにない形での支援を考えていく。



産地直売所の工事現場

その他の質問

●中学校部活動の時間と環境について

一般質問

コロナ禍で 帰省困難者の軽減策は

拡大防止の観点ではやむを得ない

入杉百合子 議員



一般質問

問 コロナ禍による首都圏在住者が気軽に帰省できるための支援の手だてや軽減策はないか。

町長 国や県の方針に応じて対応する中、他県との往来は大きな議論である。慎重な行動が求められる感染予防と経済対策の両立の中で議論があるかもしれない。拡大防止の観点ではやむを得ないので

問 首都圏在住者や仕事での出張者の一時滞在先として、町内の宿泊施設を借り上げする考えは。

町長 宿泊施設を借り上げすることによって、その場で一定期間を過ごしたり、家族が会ったりすることができるので、災害時も含めてお願いをしている。手法としては、あり得ると思う。

避難所のトイレ対策は

問 災害時の避難所では、トイレの確保が重要。町の準備状態は。

町長 携帯トイレ400セット。簡易トイレ11セット。自動ラップ式トイレ3基。マンホール式トイレ5

基。今年度中に簡易トイレ10セット、携帯トイレ200セットを考



非常用トイレ

避難所における 外国人対応の検討を

問 避難所における外国人の方たちへの対応が困難と推測される。対応マニュアルが十分ではないか。

町長 町内には800人強の外国人の方がい

るので、外国人対応が不十分というのは実態としてあると思う。現場の実態を聞きながら、各区と相談をし、町としても考えていく。

コロナ禍で 教職員の負担増が心配

問 感染拡大を防ぐため、教職員の負担が増えているのではないか心配。

教育長 国の支援策「スクール・サポート・

スタッフ配置事業」をいち早く活用し、全小学校に配置した。校内の消毒などを受け持ってもらうことで授業に集中できるようにした。



宿泊と飲食を セットにした支援を

何らかの措置を検討していきたい

岡田建二郎 議員

問 コロナ禍により、

観光・宿泊業界の経営は業者の努力ではカバーしきれないほど落ち込んでいます。今後の感染状況にもよりますが、町民の皆さんをはじめ、近郊にお住まいの親類縁者も対象とした宿泊支援キャンペーン等を検討してはどう

福祉施策の情報共有と見える化を

問 ①障がい者の利用するグループホーム構想について、当事者家族の皆さんが期待と不安を抱えている。当事者の皆さんと積極的な情報の共有を。②ハンデを抱えている方が雨に濡れないよう、公共施設駐車場の障がい者枠に屋根を設置すべき。

か。実施の際には町内飲食店とセットにしたプランの提供も有効と考えるが所見は。

町長 箕輪町は宿泊施設が少なく、特定の業者への支援が理解いただけると、冬の観光シーズンに向けて検討していきたい。



各地で普及している屋根付き駐車スペース

町長 ①コロナ禍の中で意思疎通が十分に取れなかった。遠くない時期に相談させていただきたい。②最近では高速道路SAをはじめ、屋根つきの駐車場を備えた施設が増えている。できる限り実施していきたい。

バイパスの ケヤキ並木は見直しを

問 バイパス中央分離帯のケヤキが大きくなり支障が出ている。そもそもケヤキは日本でも最大級まで大きくなる樹種であり、中央分離帯のような狭いスペースに植える木ではない。剪定によって樹形はコントロールできるが、幹や根株は年々肥大化し、縁石まで迫っている。枯れ枝の落下や右左折時の見通し確保、災害防止の点からも、管理者の県と樹種転換を含めた協議を始めるべきでは。

町長 バイパスの共用に伴い当時の関係者が町の木としてケヤキを選定された。大きくなり落ち葉の処理や交通安全上の課題もあるので、建設事務所と協議しなければならない。



枯損部が広がるケヤキも多数存在する



縁石を乗り越えて成長するケヤキの根株



地域防災力の強化に取り組む

— 自助・共助・公助・近助 —

近年の気候変動による災害の激甚化に備え、懸念される地域の課題がある。自分たちの地域は自分たちで守る。と各々の防災意識が高まるなか、地域に伝わる災害の歴史を踏まえて地域独自の防災マップの作成・区独自の防災ハンドブックの作成など、工夫を凝らした先進的な区の取組みの姿を追ってみたい。

箕輪町議会災害対応方針

災害発生時に、迅速で適切な対応を図ろうと定められたもので、議会は災害発生時、直ちに町議会災害対策会議を設置し、情報の収集に努めます。議員は、町民の安全確保と情報共有に努めます。

7月豪雨で防災マップ作成の意義を実感

防災マップ・ハザードマップ

○防災マップ・ハザードマップの作成について特に力を入れた点
福与区は昨年、防災マップを作成しました。今年度はその防災マップの活用と次の取組みが区として課題でした。

7月下旬の福与区エリアで豪雨災害がありました。一ヶ月前から雨が

続き、最後にこの地区が特に大雨になり、大きな倒木が川を塞いだ事や、住宅や農地に瞬間に大水が出て大変荒れました。夜半に区会議員や消防団員が

出動し、町と一緒に復旧にあたりました。



福与区防災マップ

この時、防災マップの危険箇所を中心に消防団と区会で巡回し、防災マップ作成の意義を実感しました。

防災訓練

区として災害時に対する取り組みの一つ目は、区内企業二社と「防災協定」を結びました。内容は災害時に企業の駐車場を避難の車中泊利用や、食品関連の企業は非常食や飲料水の提供等です。二つ目は次の災害に備えて、区の災害対策事業を行いました。



福与区山道のシスイエース (簡易横断溝) 設置

下古田区

「全員参加」「過去の災害を知る」「起こる前に」

防災マップ・ハザードマップ

下古田区民が安全安心な生活をおくるための重点は次の5点。

- ①下古田地域を知ること
 - ②地域のつながり
 - ③協力を増やす
 - ④区民を助けること
 - ⑤自分の命はまず自分で守ること
- 区は箕輪町で一番高齢化が進んでおり55歳以上の人口が52%に達し、

準限界集落化しています。

地区独自に、要援護者、独居者、高齢者リストを作成し、常に在籍している介護サポーター8名を中心に連絡網を構築、災害が起きることを前提に、三度の食事をとれる環境、歩く環境、話す環境を整



9.24 防災マップ作成 地区懇談会

備し健康で居ていただくこと。併せて、有事の時には高齢者の避難体制がいち早く構築できると同時に災害から身を守る体制構築を推進します。

防災訓練

7月8日大雨による避難

反省会
雨による避難
勧告の教訓を生かし避難所開設に必要な名簿・備品の整備をします

町議会へ

災害時に重要なことは通行路の確保になります。交通の障害となる支障木の伐採ができるよう町条例の検討をお願いします。



防災訓練反省会



防災マップ作成・危険個所の洗い出し

防災マップ・ハザードマップ
区民が興味を持てるようなマップを作成し防災意識を少しでも高めていけ

高齢者・子ども達がりやすいマップ作成中

たらと考えると、高齢者・子ども達がりやすいマップを作成し、いざという時にどこに避難したらよいか、安心・安全な避難ができるような防災マップの作成を考えています。

防災訓練

北小河内区全戸に「安否確認カード」を配布し、8月30日の訓練当日の



避難者の検温



コロナウイルス対応避難所の設営

朝「安否確認カード」を玄関ドア等に貼り、各支部役員が確認をしました。本部役員に報告して要介護者・避

難者が発生したら現実的にどう対応するかも今後の課題であります。

難者・不明者の集計を行います。災害が発生した場合、「安否確認カード」が活用されるかが課題となります。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設を行い、公民館の避難者収容想定人数等の確認ができました。



松島区防災ハンドブック

「命は自己責任！命を行政に頼らない！」

防災マップ・ハザードマップ

役場下の小黒川断層を超え、長距離を上り下りして町指定地へ避難することは、危険であり高齢者には無理です。自宅近くの安全な場所への避難で命は助かります。水害でも安全な居場所が自分で探す。そんな願いを込め「我が家の防災ハンドブック」を作成しました。

ク」を作成しました。

防災訓練

松島区は水害避難訓練と併せ、地震避難訓練を独自に実施しました。自宅外や常会避難地までの避難で訓練終了。年配の方には好評で例年より多い1650人が参加しました。「隣が逃げないから避難しなかった」が、過去の経験です。自助は近隣との絆から生まれます。隣組や常会

町議会へ

の普段の支え合いが大切です。気候の激甚化で新しい知見や防災意識が生まれています。町議会には防災の在り方を積極的に提示して頂きたいと切望します。



日赤奉仕団炊き出し訓練

防災マップ・ハザードマップ
防災は迅速が求められていることから、町のハザードマップデータ等既存資料の効果的活用を努めると



大出区防災マップ

訓練はより多くの区民参加が必要

もに、一枚で区内の実態が分かるようにA3版としました。今後の展望としては恒常的な補正・修正を継続していきます。

今後、避難所運営ゲーム（HUG）の避難所図面について、実態に即して大出区施設の図面活用を図ります。

今年7月、国は流域全体で被害を軽減する「流域治水」を打ち出したが、防災・減災は住民・行政・防災関係機関等が一体となり連携した協働の取り組みを行わなければなりません。特に情報と避難所運営は重要な課題であることから議会の牽引を期待し、全町民を収容できる施設等の確保を望みます。

防災訓練

今年の防災訓練・避難訓練は頻発する風水害を想定し、またコロナ対策から代表参加としました。訓練を行って、多くの区民参加が必要であることを改めて実感しました。



AED 訓練風景

町議会へ

今年7月、国は流域全体で被害を軽減する「流域治水」を打ち出したが、防災・減災は住民・行政・防災関係機関等が一体となり連携した協働の取り組みを行わなければなりません。特に情報と避難所運営は重要な課題であることから議会の牽引を期待し、全町民を収容できる施設等の確保を望みます。

がんばる
元気な子どもたち

サークル 紹介

No.20



みのわアタッカーズ

いつ頃から活動していますか？

1990年（平成2年）から活動し、今年で発足30年になります。

メンバーは何人ですか？

小学生男子8名、女子12名ですが、保育園の年長さんも練習に参加しています。箕輪町、南箕輪村、伊那市の子どもたちが来ています。

いつ活動していますか？

月・水曜日は17時30分～20時 土曜日は13時～16時
町民・箕輪東小・藤が丘（中部小）各体育館

楽しいことはなんですか？

トスが上手くあがって、アタックが決まった時、繋がっ

た!!と思う時です（6年男子）。試合に勝っても負けても、チームの仲間と声をかけ合い、励まし合ってバレーをするのが楽しいです（6年女子）。

最近の戦績は？

男子は上伊那秋季大会 2位。
女子はまだ結果が残せていません。

今後の目標は？

男子・女子ともに、県大会出場めざして頑張ります!!

議会に一言

日頃より町から支援を頂いていることに感謝しています。子どもたちが気軽にスポーツを楽しめるよう、これからもご支援お願い致します。

アンケート調査にご協力ありがとうございました

箕輪町議会では7月、町内に住む18歳以上の有権者2000人の方にアンケートをお願いしました。回収結果は、回答者数883人、回答率44.2%でした。大変多くの方々からご回答をいただき感謝申し上げます。

回答者の年代別内訳は、70歳代が223人（約25%）で最も多く、39歳以下は138人（約16%）でした。真剣かつ率直なご意見を数多くいただくことができ、ありがとうございました。

昨年より研究をしている、議員のなり手不足、定数問題についての参考資料とさせていただきます。

なお、アンケートの結果及び研究結果については、今年度末までに公表していく予定で取り組んでいます。

箕輪町議会議長 中澤 清明
箕輪町議会活動活性化委員会
委員長 入杉百合子

編集後記

新型コロナウイルスの拡大で、私たちの生活は「変し」、「新しい生活様式」によるウィルスとの戦いが始まりました。議会でも「箕輪町議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を立ち上げ、町との情報共有に努めています。

9月定例会の一般質問ではコロナ禍での災害対策や経済対策、町のICT化の推進など、新しい町の在り方について多くの議員が町政をただしました。

今回の議会だよりは、令和元年度の決算認定や地域防災に取り組む区の様子を紹介しました。皆様のご感想やご意見をお待ちしています。

議会広報特別委員会

- 委員長 松本 五郎
- 副委員長 釜屋 美春
- 委員 金澤 幸宣
- 委員 中澤 千夏志
- 委員 中村 政義

議会だよりに関するご意見がありましたら、お寄せください。

役場議会事務局
電話 79-31111
内線 311
メールアドレス
gikai@town.minowa.lg.jp